

にら新品種「ゆめみどり」の連続収穫による単収向上 技術の実証

要約

にら「ゆめみどり」の収量は、4回の収穫で8.1 t/10a と対照品種よりも 30%多かった。品質は、1 茎重は対照品種より 44%上回り、葉幅も同等か対照品種より優れた。

○ 展示のねらい

ウォーターカーテン設備を有するハウスに、「ゆめみどり」を慣行栽培と同等の時期に定植し、下都賀地域における「ゆめみどり」の収量及び品質を実証する。

○ 主な成果

- ・「ゆめみどり」の4回の収穫量の合計は 8.1 t/10a で、対照品種「サンダーグリーンベルト」(6.2 t/10a)より 30%多かった(図 1)。
- ・「ゆめみどり」の1 茎重は、平均 9.2 g で対照品種(6.4 g)より 44%大きく(図 2)、葉幅は平均 11.5 mm で対照品種(10.4 mm)と同等か優れた(図 3)。
- ・表皮剥離は、「ゆめみどり」、対照品種ともにほとんど見られなかった。
- ・「ゆめみどり」は、立性で葉鞘部が長く作業性も良かったため、担当農家の評価は高かった。



図 1 番刈り別の収穫量 (t/10a)

捨刈り ゆめみどり 12/8 対照 12/3

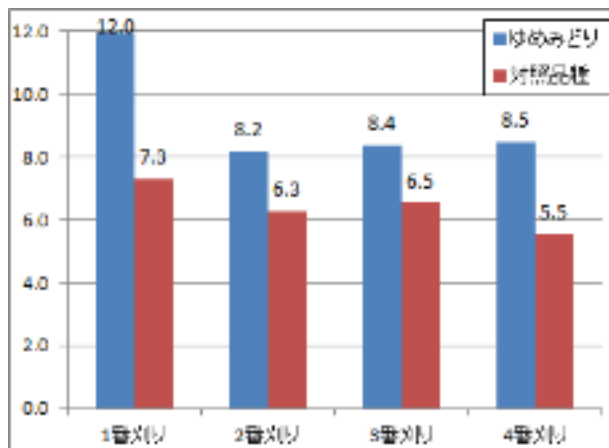


図 2 番刈り別の1 茎重 (g)

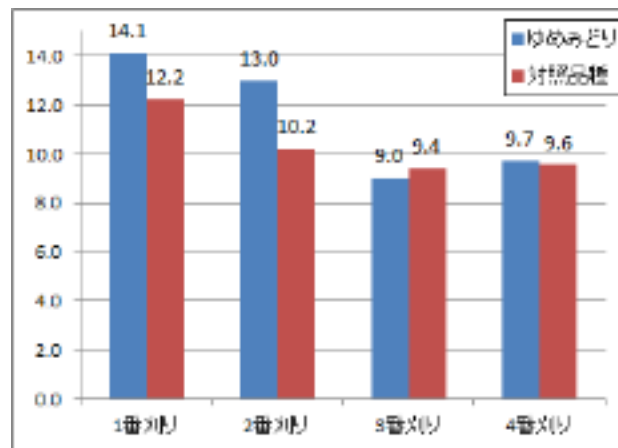


図 3 番刈り別の葉幅 (mm)

○ 今後の方向性

「ゆめみどり」は、1 茎重が重く、収量性・作業性が優れるため、非常に有望な品種であることを周知していく。出荷には問題にならないレベルであるが、葉先の葉色や初夏収穫時の葉色やや淡いため、追肥や葉面散布などの肥培管理で解決を図る。

実施機関：下都賀農業振興事務所経営普及部

実施場所：壬生町

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315